

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



タメトモユリ
Tametomoyuri

【定点把握疾患】2025年 第34週 (8月18日~8月24日)

八丈島 COVID-19 9件

青ヶ島 なし



ストレチア
Streitzia

COVID-19 が八丈町で確認されていますので、今一度、感染予防を心がけましょう。

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第33週 (8月11日~8月17日)

・全体的に、前週に比べ定点当たりの報告数は減少していますが、医療機関の夏季休診が影響していると考えられます。

ひとくち感染症情報 『重症熱性血小板減少症候群(SFTS)』



1 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは

2011年に中国で命名された新規感染性疾患で、中国では2009年頃から発生が報告されており、2012年には韓国においても発生が確認されました。日本では2012年に発症した海外渡航歴のない症例が初めての報告となります。SFTSの症例は西日本を中心に報告されていますが、近年では、推定される感染地は静岡県などを含む29府県に広がっています。(2025年4月30日現在)

2 原因と感染経路

病原体はSFTSウイルス(SFTSV)です。ウイルスを保有しているフタトゲチマダニ等のマダニに直接咬まれること、もしくは、マダニに咬まれて感染した動物(野生、屋外で飼育されている動物)の体液などにより感染します。感染患者の血液、体液との接触感染も報告されています。マダニは野外に生息する大型のダニで、屋内に生息するダニ(コナダニ類・チリダニ類など)はこの疾患とは関係ありません。

3 症状

潜伏期間は6日~2週間程度です。主な症状は発熱と消化器症状(おう吐、下痢など)が中心で、倦怠感、リンパ節のはれ、出血症状なども見られます。致死率は27%とする報告があります。

4 治療

基本的に対症療法が行われますが、2024年6月に抗ウイルス薬(ファビピラビル)が承認されており、病状の進行が予期される場合には使用が検討されます。

5 予防のポイント

野外でマダニ等に咬まれないようにすることが大切です。特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意が必要です。草むらや、やぶなど、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくすることが大切です。感染者の血液、体液、排泄物との直接的な接触も避けるようにして下さい。

動物もSFTSVに感染し、人と同じような症状を呈することがあります。SFTSVに感染した犬や猫から人が感染した例も報告されています。野生動物や衰弱している動物には触らないようにしましょう。動物に口移して餌を与えるなどの過剰な接触は避け、動物を触った後は必ず手洗い等しましょう。飼育している動物にマダニがついていないかなど、日頃より動物の健康管理に努め、健康状態不良時は動物病院に相談してください。

現在、予防接種はありません。



QRコード

「東京都健康安全センター」ダニが運ぶ感染症に注意

☆厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryo_usoudan.html#h2_1

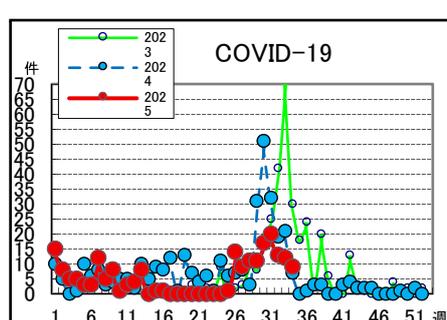
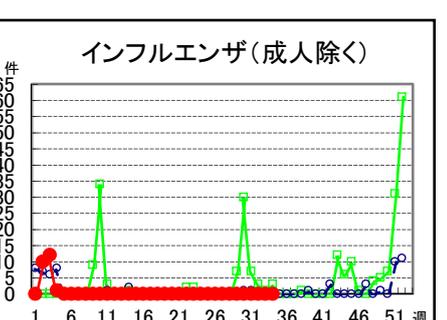
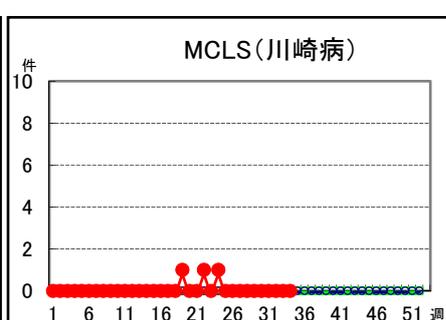
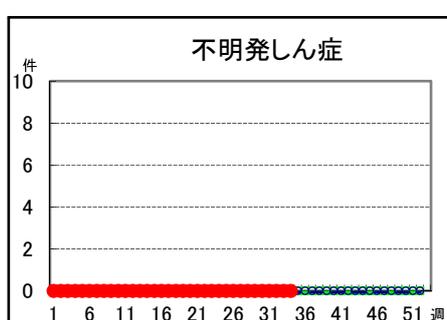
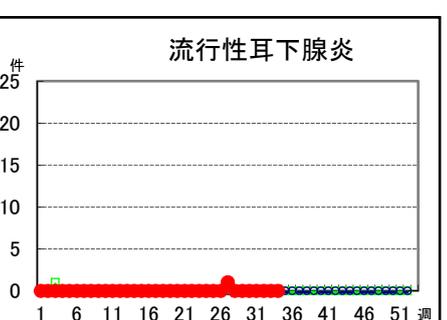
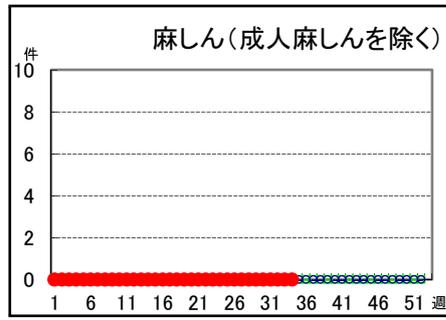
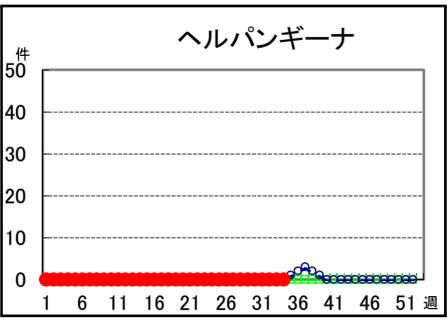
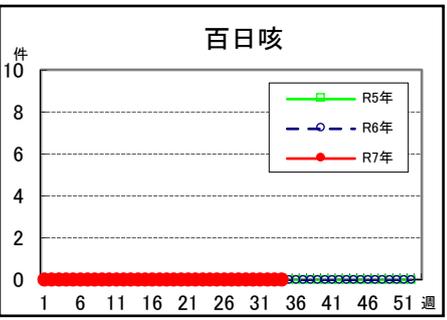
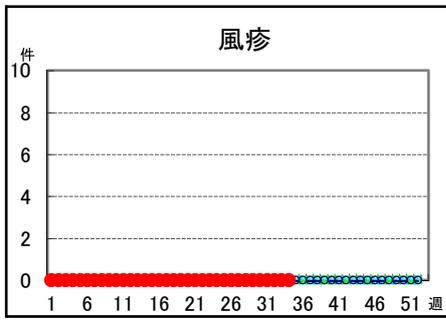
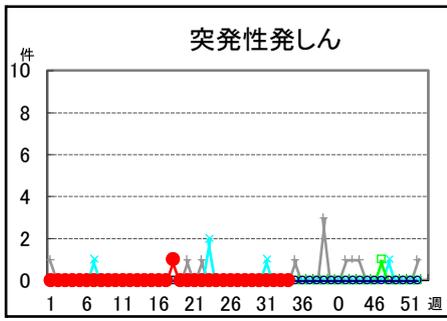
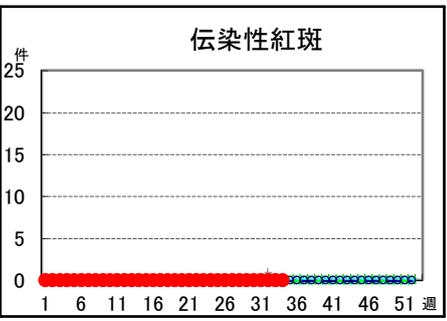
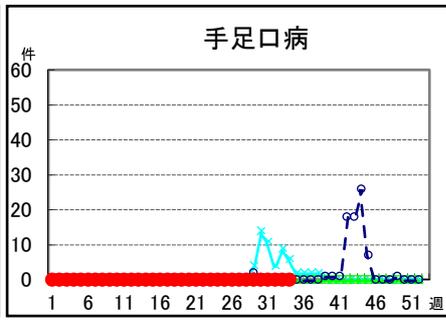
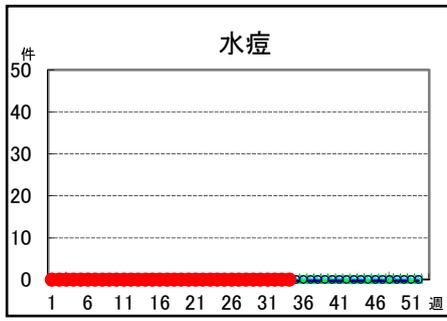
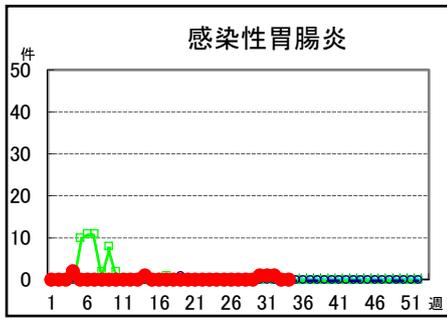
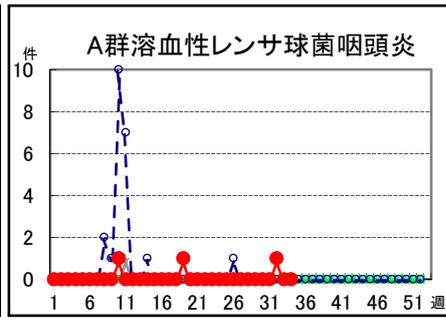
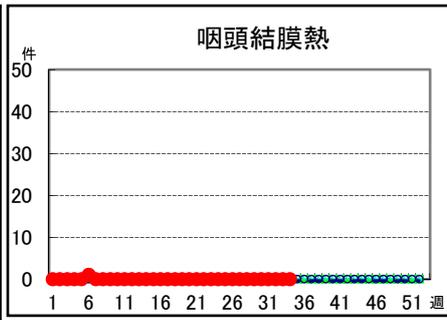
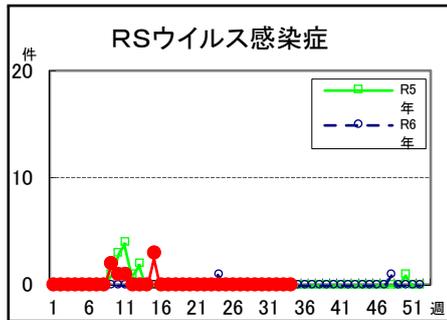
島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>

○東京都(全域) ⇒ Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

○全国 ⇒ 国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生およびまん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
 島しょ保健所 八丈出張所
 電話:04996-2-1291
 FAX:04996-2-0632